

【 6. Environmental arrangement 】

①病期に合致した安全な導線とレイアウトのアドバイス

環境設定の根幹を移動・歩行の自立機能維持におき、病期に応じて適切なレイアウトをご提案致します。

②自立的なエクササイズが可能な環境設定

起き上がり、立ち上がり、トイレへの移動・移乗などADLが自立的なExerciseとして置換できる様、BEDや椅子、手摺の高さや位置を設定致します。

③国家資格を有するセラピストが相談窓口

SSPDに関する福祉用具導入のご相談はPT/OT/AMTが担当致します。
レイアウト、福祉用具選定などで迷われた際はいつでもご相談ください。